

宮城県壮年テニス連盟

会 報

第 2 号

昭和61年12月23日 発行

壮年テニス連盟の皆様へ

宮城県テニス協会 会長 村上 和 夫

会員の皆様、日ごろテニス協会の行事につきましては何かと暖かいご協力を賜わり、ありがとうございます。

さて、壮年連盟が発足してから早くも一年を終わろうとしておりますが、会員の数はすでに二百人に近いとのことであり、また行事の面でも毎月趣向をこらした催しが実施され、なかなか盛況だったと思います。私も月例会に数回参加させていただきましたが、とても楽しい集いでしたし、とりわけ、多くの新しいテニス仲間ができたことを喜んでおります。

私が硬式テニスを始めたのは昭和二十二年、旧制二高に入学してからですが、その頃、壮年の年代で硬式テニスをやっておられたのは、中川先生、小町谷先生、抜山先生など東北大学の先生方が数人、そのほかに二、三人といった程度でした。それが今では壮年連盟の会員が二百人もあり、非会員も含めると、壮年代のテニス人口は、県内に五、六百人はいるのではないかと推定されます。数だけでなく、腕前の方も多士済々で、今や老壮といえども、県の代表になるのは容易ではなくなってきました。

ところで私はというと、腕の方は年々衰える一方で、近頃は専ら長生きテニスに徹していこうと心に決めております。その点、壮年連盟の会員の中には、七十代、六十代の先輩方が大勢おられるので励みになります。

宮城県では、これまで、前東北テニス協会会長の抜山先生の八十数才までやられたのが記録でしょうか。いま、抜山先生の記録を更新しようと、吉沢先生ほか何人かの方々が頑張っておられるようですが、是非大勢の方々がそれを成就してほしいものだと思います。そして私も、先輩の皆様を追いかけてゆき、さらに新記録を目指して頑張りたいと思っております。どうぞ末永くお付き合いくださいますようお願い申し上げます。

◇ 寄 稿 ◇

テニスと私

岩 月 賢 一

小さい時からテニスは好きだった。子供の頃にはラケットなどとても買ってもらえなかったのが、手のひらでボールを打ち合ったり、薄い木の板に柄を付けて、ラケット代わりにして遊んだ。ラケット (racket) という語は、辞書を見ると、手掌を意味するアラビア語の rābah (複数 rāhāt) からきたと書いてある。昔は手のひらでボールを打ち合ったのであろう。

目 次

壮年テニス連盟の皆様へ	
… 宮城県テニス協会 会長 村上和夫 ..	1
〈寄稿〉	
テニスと私	岩 月 賢 一 .. 1
私の願い	菊 田 絢 子 .. 2
壮年壮語	渡 辺 博 茂 .. 3
感想	松 尾 正 親 .. 4
〈競技会記録〉	4
〈お知らせ〉	
新加盟会員	7
第1回委員総会要録	7

ところで、私は中学、高校から大学にかけてもっぱら軟式をやったが、昭和25年に信州大学に赴任してから間もなく硬式に転向し、その後は下手の横好きそのままに、テニスは生活の一部ようになった。昭和33年に東北大学に移ってから、医学部に硬式庭球部をつくり、退官まで十数年間部長をしてきた。当時は新入生が庭球部に入ると、まず私と試合をすることにしていた。入学当初は軽くない学生にも、卒業の頃には全く歯が立たなくなり、論語の「後生畏ルベシ。焉ソ来者ノ今ニ如カザルヲ知ランヤ」の意味がよく分かった。

私にとってテニス暦は随分長いが、語るべき戦績といえば、昭和60年の第12回全日本医師テニス大会において、満70才以上の超高壮年ダブルスではじめて優勝したぐらいのもので、大抵の場合は参加することに意義を認め、もって自ら安んじている。齢古希を越えたこの頃は、勝敗よりも今後いつまでできるかが課題である。先にあげた論語の一節はさらに、「四十、五十ニシテ聞コユル無クンバ、斯レ亦畏ルルニ足ラザルノミ」と続いているが、私はこれに代って「六十、七十にしてコートに立つこと無くんば、斯レ亦テニスマンと言うに足らざるのみ」と書き添えたい。過般敬老の日に町内会から、老人招待券とともにゲートボールへのお誘いを受けたが、清酒一本持参して慇懃に断わっておいた。

もともとスポーツという語は、語源的には「氣ばらし」という語からきているようだ。とすれば、勝敗にこだわってストレスになるようでは、スポーツの本義にもとる。とはいえ、試合には勝ちたいし、勝てばやはり嬉しい。そこにスポーツの魅力がある。いつかある本に、老人には他人に迷惑をかけないで、ひとりで遊べるオモチャが必要だと書いてあった。幸い私にはテニスというオモチャがある。若い諸君の邪魔にならず、美しく老いるために、これからもほどほどにテニスを楽しみたいと思っている。

(61.12.12)

私の願い

菊田 絢子

大正生まれの私が今頃テニスをやっていることが不思議なように思います。戦中戦後の時代を結婚、家事、育児、商売と夢中で働き続けて四十年が過ぎってしまったのです。子供達が自立したら、好きなこ

とをして暮らせたらいいなと思っておりました。物質文明が進み生活が豊かになったのに、私は相変わらず忙しい生活です。若いお母さん達は家事や育児をしながら上手に余暇を楽しむ時代になったのです。このような時の流れの中で、私もこれからの人生は張りつめるだけでなく、リラックスして楽しく生きるべきだと思いました。息子達も、「お母さん、趣味をもったら」と言ってくれました。もともとスポーツは好きでしたので、息子のやっているテニスをやってみたいと思いました。テニスブームということもありましたが、青空の下で出来る健康的な魅力からです。誰もいないコートで、ラケットの握り方から根気よく特訓が始まりました。これが私のテニス入門でした。体力にはまだ自信があったつもりでしたが、特訓は「ハーハー、フーフー」のみじめさでした。こんなことでいつまで続けられるだろうか心配でしたが、テニスの楽しさと汗を流したあとの爽やかさが私をテニスのとりこにしていきました。それから講習会、テニス教室に積極的に参加して勉強しました。娘と同じ年代の若いお友達がたくさんきて、励まされながら今日まで続けることができました。

小山先生からは、年代に合ったテニスをして幸福テニスになるようにと教えていただきました。息子達に、「お母さん、上手になったね」と言われるのが一番うれしいです。壮年テニス連盟の仲間に入れていただいて感謝しております。挑戦する気力を失わず、マイペースで白球を追いつづけ、心身共に健康で暮らせることが私の願いです。



壮年壮語

丸田沢テニスクラブ 渡辺博茂

宮城県壮年テニス連盟の委員総会に於いて、本年度(61年度)の収支決算がかなりの黒字になりそうなので、それをどのような形で会員に還元すればよいかということについて意見を求められた。その時、私は、余ったお金は貯めておいて、壮年テニス連盟で自分達のコートを一、二面持つくらい少しスケールの大きいことを考えてはいかがでしょうかなどと、甚だ無責任な発言をしてしまった。その時に運営委員の上山先生から、あいつは大言壮語を吐く奴であるとの大変に名誉な評価を頂戴したようで、今回の会報に何か書くよう依頼されてしまった。同好の士の会報ゆえ、少々、羽目を外してもよろしいというお墨付きをもいただいたので、行きがかり上、不本意ながらかゝる駄文を書く羽目になった次第である。まあ、毒を食らわば皿までという心境で、標題のような珍語を作ることになってしまった。

まず、自己紹介的なことから始めると、私は我ながら相当のテニキチ(テニス気遣い)ではないかと考えている。私が初めてラケットを握ったのは、今から四年程前のことである。丑年の生まれであるから、壮年と呼ばれるようになってからである。テニスを始める前までは、自分で体を動かすスポーツは殆ど経験したことがなかった。専らテレビで野球とか相撲を観戦するに過ぎなかった。それが今では、テニス以外のスポーツには全く興味がなくなってしまった。それどころか、それらを観戦することさえテニスに対して浮気であると考えているくらいである。テニスでも、私は断然ダブルス党であり、シングルスをする奴などは、あれは浮気者よなどと内心軽蔑さえしている。従って、テレビでたまに放映されているらしいシングルの試合などは当然見ない。私にとってテニスとは即ダブルスのことである。

テニスは実に面白いスポーツである。テニスはどのようにして我々を惹きつけるのであろうか。テニスの魔力とは一体何なのだろうか。私には本当に不思議でならない。

テニスは老若男女を問はず誰にでもできて、気軽に楽しめるという所にそのカギがあるように思う。テニスには、初心者には初心者なりの、また、上級者には上級者なりの技術的な課題と悩みが常にあって、これでよしということのない大変に奥行の深いスポーツであると思う。以上のことは私のテニスに

対する実感なのであるが、こゝで標題のことに戻りたい。

私は来年(昭和62年)には、三つのことを是非実行したいと考えている。

第一番目は、一人でも多くのテニキチをつくることに大いに協力をするということである。テニキチをこの世の中に蔓延させることが世界平和に直接つながると考えるからである。それは、「テニスをよくする者に悪人なし」ということをこれまでの経験から確信するに至ったからである。

それにしても、テニスをする人は二重人格者が多いようである。日頃あのように淑女紳士である人が、コート内に入ったとたん、どうしてあのように人が変わるのであろうか? こちらがとても取れないような難かしい所にボールを打って狂喜するのであるから! 全く不可解なり。だが、ひとたびコート外に出ると全くの善男善女なのである。それから、テニスをしている時のあの女性の美しいこと、この世のものとは思われぬくらいである。つくづくテニスをしていてよかったと感じるのである。

第二番目は、我がテニス観を実践し、且つ、それを人に押しつけることである。我がテニス観とは少々大げさすぎるが、テニス(=ダブルス)は、「サーブのレシーブ以外はグランドストロークをするな」というのが私の持論である。換言すれば、「とにかくネットを取ることを心掛けよ」である。私より年長の人にはこれを求めないが、年少者には押しつけるつもりである。私は、雁行陣は、あれはテニスをやっているのではなく、浮気行為をやっているのだと思っている。来年の連盟の月例会で、私と対戦する時はくれぐれもお気をつけの程を。これは私の最も得意とする口ニスのワザの一つである。いにしえの書にも言う、「いづれの勝負事においても、機先を制することこそ肝要のことなり」と。

第三番目は、来年の年齢別ダブルス大会では優勝して、連盟忘年会で優勝者スピーチをするということである。さきにも述べたように、私は丑年の生まれで来年はジャストであり、今から大会を心待ちしているところである。

この優勝宣言をもって壮年壮語のしめくゝりしたい。不悪!

感想

松尾正親

壮年テニス連盟発足から、全行事の月例会大会に参加楽しいプレーができました。これも、各役員の方々が当日の準備に大変な苦勞をされたお陰と、心から感謝しております。若手を代表し、テニスとテニス友達について述べてみたいと思います。

「テニス」は不思議なもので、上手、下手に拘らず、こんなに熱中できる競技は他にないと思っております。週日、中三日ぐらい休むと落ち着きがなく、「いらいら病」になる次第です。私のテニスは、仲間からはあまり良い相手ではなさそうです。何故なら、打球が遅く、またラケットの真芯で返球されないのが理由のようです。真芯でボールを捉えるのは難しい。コート内では、常に目標を持ってプレーに臨むよう心掛けているつもりですが、つい失念ばかり。また、ボールをネットしないこと、アウトでもネットを越せば確立が上がると思込んでいる。次に、相手より一打多く返球すること、何故なら自分には強力なストロークが打てない。特に背が低いため、試合中、ロブ攻めに遇うことが多い。そのため、ハイボレーでロブを防ぐ方法(スマッシュも弱点)、頭上を抜かれたボールを拾うことを心掛けているつもりですが、壮年になり通用しなくなってきました。

次に、ダブルスのパートナーには何時も感謝しています。私は特にダブルスばかり経験してきました。各種の大会に於いて上位入賞の時など、パートナーのお陰と思っております。今年の月例会でも、沢山の方々に組んで戴きありがとうございました。最後になりますが、壮年のテニスだからこそ沢山の人達と出会う楽しみがあると思います。その中でも、第62回(昭和58年)毎日トーナメントに出場し、3回戦で第1シード石黒(元杯選手)二宮組と対戦できたことが思い出に残っております。2回戦は加茂(礼)佐藤組でしたが不戦勝でした。これからもまた、目標を持って壮年テニスに望みをかけています。それは特に55才以上でハッスルされている大先輩の方々に負けぬよう頑張りたいと思っております。皆様の良き御指導をお願い致します。

◇ 競技会記録 ◇

第2回月例会結果 昭和61年8月15日

<ミックスおよびC級ダブルス>

◆Group-1

	村・北	工・河	坂原	井沢	須田	西・山	野・井	西田
村上愛・北野好子(原A)		3-4			4-1			1-1 3
工藤原佳穂・野野好子(原A)	4-3		4-1			4-3		3-0 1
坂原正枝・正子(原北)		1-4		4-3				1-1 3
井沢善雄・三巻(アップル)			3-4		4-0	4-3		2-1 2
須田茂一・幹子(豊後台)	1-4			0-4				0-2 4
西田幸子・山内宏(原北)		3-4		3-4				0-2 4

◆Group-2

	坂・久	西田	高橋	加・坂	須田	中・中	野・井	西田
野田尚美・久保子(原A)		4-0		4-0	4-1			3-0 1
谷田利・栄	0-4			0-4	1-4	0-4		0-4 8
西田徳子・明子(原豊台)				4-1	4-1	4-3		3-0 1
加藤民彦・坂元ミチ(原北)	0-4	4-0	1-4			4-3		2-2 3
須田一・和子(原A)	1-4	4-1	1-4			4-1		2-2 3
中村京子・中山小夏子(原A)		4-0	3-4	3-4	1-4			1-3 5

◆Group-3

	高橋	須・井	西・山	小・重	石黒	中・下	上・須	野・井	西田
高橋去夏(原北)		1-4			2-4		1-4	0-3 8	
須井・徳子(原北)	4-1		3-4			4-1		2-1 3	
西田・俊博(原北)			1-4			0-4	0-4	0-3 8	
小重・善雄(北)		4-3	4-1				4-0	3-0 1	
石黒去夏(原北)	4-2					1-4	1-4	1-2 5	
中下・下山(原北)		1-4	4-0		4-1			2-1 3	
上山・酒井(原北)	4-1		4-0	0-4	4-1			3-1 2	

<A, B級ダブルス>

◆Group-1

	青・井	西・山	各・宮	坂・北	野・井	西田
奥本(明)・井沢三葉(アップル)			8-2	8-3		3-0 1
野野好子(原A)・田邊(原北)	2-6		1-6	1-6	0-3 4	
各宮(原北)・菅原(原北)	3-6	8-1			8-2	2-1 2
須田尚美・北野好子(原A)	2-6	8-1	2-6		1-2 3	

◆Group-2

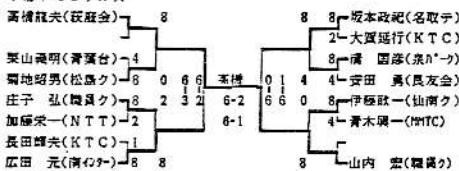
	中・小	玉・井	西・山	中・下	野・井	西田
中村(原豊台)・小田(北)		3-6	8-3	1-6	1-2 3	
高橋(原北)・井沢(原北)	8-3		8-3	2-6	2-1 2	
各宮(原北)・坂原(原北)	3-6	3-6		3-6	0-3 4	
中村(原A)・下山(原北)	8-1	8-2	8-3		3-0 1	

◆Group-3

	谷・野	村・北	各・宮	工・河	小・重	上・山	大・重	野・井	西田
谷田・徳子(原北)		1-6	4-6				6-5	1-2 3	
村上・本間(原北)	8-1		8-3	8-3				3-0 1	
坂原(原北)・正子(原北)	8-4	3-6		6-6				2-1 3	
工藤・久保(原A)		3-6	6-6		2-6			0-3 7	
須田(原北)・野野好子			8-2		3-6	6-6		1-2 4	
上山・山内(原北)				8-3			8-1	2-0 2	
大重(原北)・高橋(原北)	6-6				6-6	1-6		1-2 4	

昭和61年度宮城県テニス選手権大会
9月13,14,15,20日 宮城野原総合競技場

▼壮年 シングルス



▼壮年 ダブルス



▼女子40才以上 シングルス



▼女子40才以上 ダブルス



▼男子55才以上 シングルス



▼男子55才以上 ダブルス



第1回ミックスダブルス大会

A級 中村克宏・志賀ちとせ組 圧勝

B級 支倉夫妻 C級 酒井夫妻 初優勝

好天候に恵まれ、8月24日(日)青森山公園野球場に合計26ペアが参加し熱戦が展開された。各級それぞれ抽選により予備リーグの組分けがおこなわれ、その結果により準決勝トーナメントのシードを決め、A、B級はさらに決勝リーグで優勝が争われた。戦績は次の通り。

< A 級 >

◆予備リーグ◆

(第1組)

	中・志	井沢	松屋	勝・敗	順位
中村克宏・志賀ちとせ(泉ノク)	4-2	4-2	2-0	1	
井沢秀雄・井沢三恵(アツリ)	2-4	2-4	0-2	3	
松屋正親・松屋正子(東北ファミリ)	2-4	4-2	1-1	2	

(第2組)

	武田	川・坂	青・千	勝・敗	順位
武田勝介・武田美子(泉ノク)	4-1	4-0	2-0	1	
川口温弘(六丁)・坂爪聖也(泉ノク)	1-4	4-0	1-1	2	
青木一(NM)・千葉信子()	0-4	0-4	0-2	3	

(第3組)

	上・藤	鈴・早	中・八	勝・敗	順位
上山弘・藤島玲子(南イター)	3-4	4-1	1-1	2	
鈴木功・早坂幸子(東北大戦力)	4-2	4-2	2-0	1	
中鉢不二男・八尾幸子(青葉台)	1-4	2-4	0-2	3	

◆準決勝トーナメント◆



◆決勝リーグ◆

	中・志	武田	松屋	勝・敗	順位
中村・志賀(泉ノク)	6-1	6-5	2-0	1	
武田夫妻(泉ノク)	1-6	2-6	0-2	3	
松屋夫妻(東北ファミリ)	5-6	6-2	1-1	2	

< B 級 >

◆予備リーグ◆

(第1組)

	千葉	山内	新・中	勝・敗	順位
千葉宗・千葉信子(東北大戦力)	2-4	4-1	1-1	2	
山内宗・山内園子(東北大戦力)	4-2	4-2	2-0	1	
大塚洋行・大塚安子(東北大戦力)	1-4	2-4	0-2	3	

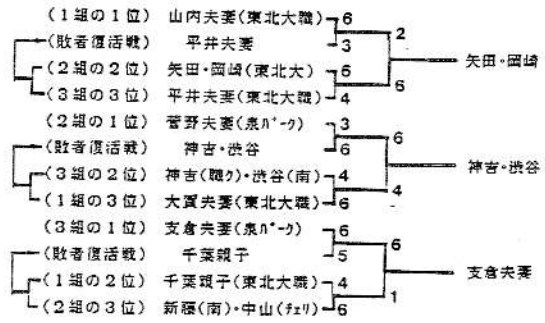
(第2組)

	菅野	矢・岡	新・中	勝・敗	順位
菅野義治・菅野美津子(泉ノク)	4-2	4-1	2-0	1	
矢野康治・岡崎幸子(東北大戦力)	2-4	4-1	1-1	2	
新藤美雄(南イ)・中山八重子(アツ)	1-4	1-4	0-2	3	

(第3組)

	神・洪	平井	支倉	勝・敗	順位
神吉一(鶴ヶ)・洪谷陽子(南イ)	4-3	3-4	1-1	2	
平井正典・平井朝子(東北大戦力)	3-4	0-4	0-2	3	
支倉征一郎・支倉成子(泉ノク)	4-3	4-0	2-0	1	

◆準決勝トーナメント◆



◆決勝リーグ◆

	矢・岡	神・洪	支倉	勝・敗	順位
矢野・岡崎(東北大戦力)	1-4	4-6	0-2	3	
神吉(東北大戦)・洪谷(南イター)	4-1	1-4	1-1	2	
支倉夫妻(泉ノク)	6-4	4-1	2-0	1	

< C 級 >

◆予備リーグ◆

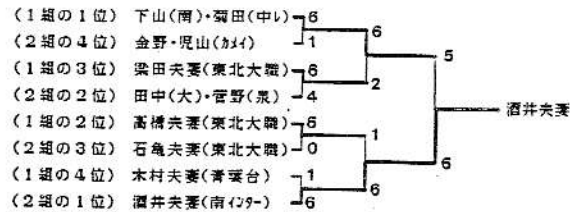
(第1組)

	木村	高橋	梁田	下・藤	勝・敗	順位
木村宏・木村理子(青葉台)	2-4	0-4	0-4	0-3	4	
高橋優次・高橋貴子(東北大戦)	4-2	4-1	3-4	2-1	2	
梁田豊平・梁田美津子(東北大)	4-0	1-4	1-4	1-2	3	
下山修(南)・菊田純子(中山イター)	4-0	4-3	4-1	3-0	1	

(第2組)

	石角	酒井	金・原	田・菅	勝・敗	順位
石角浩男・石角説三(東北大戦力)	3-4	4-3	3-4	1-2	3	
酒井秀彦・酒井俊子(南イター)	4-3	4-1	4-2	3-0	1	
金野成・原山善枝(加イ)	3-4	1-4	0-4	0-3	4	
田中英八郎(東北大)・菅野(泉)	4-3	2-4	4-0	2-1	2	

◆決勝トーナメント◆



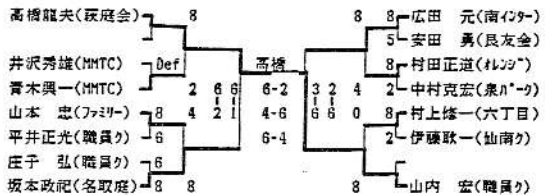
3位決定戦

梁田夫妻-5
高橋夫妻-6

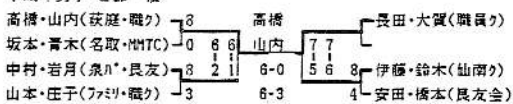
第41回国民体育大会宮城県予選会

7月20、21日 宮城野原総合競技場

▼成年男子 2部 単



▼成年男子 2部 複



第1回年齢別ダブルス大会

今年最後のメインイベント、年齢別ダブルス大会は紅葉の美しい青葉山公園コートに合計34ペアが参加し、各層 リーク戦方式で覇を競い

女子 40才以上 菅野・市川組 45才以上 坂爪・岡崎組
男子 45才以上 松尾・中辻組 50才以上 山内・石鳥組
55才以上 庄子・山本組 65才以上 花淵・酒野尾組

がそれぞれ初優勝を飾った。

▼女子40才以上ダブルス

	坂・松	三・八	広・酒	田・支	菅・市	鎌・村	勝数	順位
坂田(泉N'カ)・松尾(ファミリー)		4-5	1-5	2-5	0-5	5-0	1-5	5
三野()・八屋(青葉台)	5-4		5-1	5-0	1-5	5-2	4-1	2
広田・酒井(南イター)	5-1	1-5		1-5	0-5	5-3	2-3	4
田口・支倉(泉N'カ)	5-2	0-5	5-1		5-2	5-2	4-1	3
菅野・市川(泉N'カ)	5-0	5-1	5-0	2-5		5-0	4-1	1
鎌田(青葉台)・村上(泉N'カ)	0-5	2-5	3-5	2-5	0-5		0-5	6

(註)同勝率の3者は得失ゲーム数最大の者を1位とし、残る2者は対戦の勝者を2位とする

▼女子45才以上ダブルス

	中・平	坂・岡	・	岡・高	勝数	順位
中山(ファミリー)・平井()		5-6		0-6	0-2	3
坂爪(泉N'カ)・岡崎(東北大)	6-5			6-4	2-0	1
岡田(ファミリー)・高橋哲()	6-0	4-6			1-1	2

▼男子45才以上ダブルス <1組>

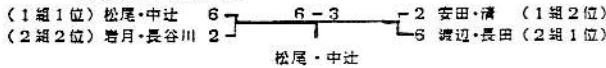
	下・佐	鎌・香	坂・中	安・酒	岡・高	勝数	順位
下山・佐々木(南イター)		6-2	1-6	0-6		1-2	3
鎌田(泉N'カ)・香木(NMTC)	2-6		0-6	3-6		0-3	4
松尾・中辻(ファミリー)	6-1	6-0		6-4		3-0	1
安田・清(良友会)	6-0	6-3	4-6			2-1	2
菅野・高橋哲(郵政ク)							棄権

<2組>

	岩・長	武・酒	大・鈴	岡・神	清・長	勝数	順位
岩月(良友会)・長谷川(学院大)		6-3	6-3	6-0	0-6	3-1	2
武田(泉N'カ)・酒井(南イター)	3-6		1-6	6-0	1-6	1-3	4
大塚・鈴木(東北大競ク)	3-6	6-1		6-1	6-4	3-1	3
岡田・神山(東北大金研)	0-6	0-6	1-6		0-6	0-4	5
渡辺・長田(東北大競ク)	6-0	6-1	4-6	6-0		3-1	1

(註)同勝率3者のうち得失ゲーム数最大の者を1位とし、残る2者は対戦の勝者を2位とする

<決勝トーナメント>



▼男子50才以上ダブルス

	村・本	鎌・久	山・石	小・早	菅・村	勝数	順位
村上・本間(泉N'カ)		6-5	5-6	6-0	6-0	3-1	2
鎌田(良友会)・久保(泉N'カ)	5-6		1-6	6-0	6-1	2-2	3
山内・石鳥(東北大競ク)	6-5	6-1		6-0	6-0	4-0	1
小野寺・津・早川()	0-6	0-6	0-6		4-6	0-4	5
菅野・村上和(泉N'カ)	0-6	1-6	0-6	6-4		1-3	4

▼男子55才以上ダブルス

	上・川	小・中	庄・山	平・高	藤・矢	勝数	順位
上山(南イター)・川口(六丁目)		5-6	5-6	6-0	6-3	2-2	3
小園(北イター)・中村(泉N'カ)	6-5		0-6	6-3	6-2	3-1	2
庄子(東北大競ク)・山本(ファミリー)	6-5	6-0		6-0	6-4	4-0	1
平井・高橋哲(東北大競ク)	0-6	3-6	0-6		2-6	0-4	5
藤原・矢田(東北大競ク)	3-6	2-6	4-6	6-2		1-3	4

▼男子65才以上ダブルス

	青・川	花・酒	武・新	野・田	千・吉	勝数	順位
青沢・川上(丸太沢)		3-5	3-5	5-1	5-3	2-2	3
花淵(北イター)・酒野尾()	5-3		5-1	5-0	4-5	3-1	1
武田・新藤(南イター)	5-3	1-5		5-0	5-2	3-1	2
岩月(良友会)・田中(探研会)	1-5	0-5	0-5		5-0	1-3	4
千葉・古坂(東北大競ク)	3-5	5-4	2-5	0-5		1-3	5

(註)同勝率の2者は対戦の勝者を上位とする

<C組ダブルス>

	池・酒	高橋	松・新	山・田	中・曾	種・小	勝数	順位
池谷隆子・酒井隆子(南イター)		6-2	0-6	6-4	6-0	6-4	4-1	2
高橋隆子・庄子(東北大競ク)	2-6		0-6	6-5	6-1	6-4	3-2	3
松山直水・新藤隆子(白樺/南)	6-0	6-0		6-0	6-0	6-0	5-0	1
山本美一・早稲穂子(南/東北大)	4-6	5-6	0-6		6-0	6-4	2-3	4
中山八重子・酒田隆子(北イター)	0-6	1-6	0-6	0-6		2-6	0-5	6
種田隆子・小林マチ(青葉台)	4-6	4-6	0-6	4-6	6-2		1-4	5

対女子テニス連盟

観音片抗戦

11月16日(日) 東部5号公園コート

女子連 10-26 壮年連

I ブロック 女子 5-4 壮年

青藤・宮野	7-6	中辻・松尾
"	6-4	渡辺・長田
"	6-3	嶋田・安田
戸叶・鎌田	6-3	中辻・松尾
"	6-3	渡辺・長田
"	5-7	嶋田・安田
加賀・荒木	2-6	中辻・松尾
"	3-6	渡辺・長田
"	4-6	嶋田・安田

II ブロック 女子 0-9 壮年

高田・関根	4-6	小野寺・三塚
"	4-6	村上・本間
"	6-7	菊地・山内
半田・川縁	2-6	小野寺・三塚
"	1-6	村上・本間
"	2-6	菊地・山内
亀谷・松浦	2-6	小野寺・三塚
"	2-6	村上・本間
"	2-6	菊地・山内

III ブロック 女子 2-7 壮年

菊地・虎井	5-7	中村・久保
"	3-6	川口・上山
"	2-6	我妻・青木
武田・中沢	7-5	中村・久保
"	4-6	川口・上山
"	2-6	我妻・青木
中柴・八嶋	4-6	中村・久保
"	3-6	川口・上山
"	7-5	我妻・青木

IV ブロック 女子 3-6 壮年

山口・宮野	2-6	井沢・千葉
"	6-3	花淵・武田
"	6-2	中鉢・小関
坂本・加藤	4-6	井沢・千葉
"	7-5	花淵・武田
"	1-6	中鉢・小関
長谷川・角鋸	3-6	井沢・千葉
"	4-6	花淵・武田
"	2-6	中鉢・小関

<A. 8組ダブルス>

◆Group-1

	青・長	高・久	大・鈴	川・小	清・長	勝数	順位
高橋隆子・長谷川(東北大)		4-6	6-5		2-6	1-2	3
高橋隆子・山田(中山/探研)	6-4		6-2		1-6	2-1	3
久保美一・早川(泉N'カ)	5-6			3-6	4-6	0-3	6
大塚隆子・鈴木(東北大競ク)	2-6	6-3			1-6	1-2	5
川口清弘(六丁目)・小野寺()	6-2	6-3			6-5	3-0	1
渡辺長田・長田(東北大競ク)	6-1	6-1	5-6			2-1	2

◆Group-2

	青・多	中・小	山・酒	新・高	勝数	順位
高橋隆子(ファミリー)・多田(探研)		5-6	4-6	6-3	1-2	3
中鉢(青葉台)・小関(北イター)	6-5		2-6	6-4	2-1	2
下山(山内)・酒野尾(東北大競ク)	6-4	6-2		5-6	2-1	1
菅野(探研)・高橋(東北大)	3-6	4-6	6-5		1-2	4

◆Group-3

	池・酒	高橋	松・新	山・田	中・曾	勝数	順位	
池谷隆子・酒井隆子(南イター)		6-1	1-6		6-3	2-1	3	
高橋隆子・新藤隆子(東北大/南)	1-6			5-6	0-6	0-3	6	
井沢・千葉(7/1)	6-1			6-3		6-1	3-0	1
田田美津子・高橋隆子(東北大)	6-5	3-6				1-6	1-2	5
菅野隆子・高橋隆子(泉N'カ)	3-6	6-0				6-1	2-1	2
高橋隆子・高橋隆子()			1-6	6-1	4-6		1-2	4

◇ お知らせ ◇

新加盟会員

前回の名簿発行以後次の方々加盟され、加盟会員は現在 192名となりました。事務局の不手際で前回の名簿に記載洩れになった方も、ここにお詫びして載せさせていただきます。

磯部	香		
市川	文子		泉ハ°-クワツTC
大賀	延行	東北大工学部	東北大職員ク
大賀	安子		
菊田	絢子		チェリーTC
北野	妙子		泉ハ°-クワツTC
小林	富美子		
児山	義枝		
斉藤	広子		
酒井	倭子		南インターTC
佐藤	友美	川鉄建材東北	
志賀	ちとせ		泉ハ°-クワツTC
嶋田	鼎	岩出山病院	萩庭会
嶋田	園子		
鈴木	功	東北大工学部	東北大職員ク
清	国彦	ミロテリア商会	泉ハ°-クワツTC
高橋	好子		泉ハ°-クワツTC
多久	堯夫	萩の里	
谷岡	栄		
千葉	信子		
中山	八重子		チェリーTC
橋本	保彦	東北大医学部	良友会
原	二郎	東北福祉大	
藤島	玲子		南インターTC
松尾	正子		東北ファミリーTC
松山	真水	東芝	
八尾	圭子		青葉台ク
梁田	満寿子		
渡辺	三郎		郵政クラブ

第1回委員総会開催

第1回(昭和61年度後期)委員総会は去る12月6日(土)午後4時から東北大学科学計測研究所会議室に於いて、グループ代表委員16名(内委任状5)および運営委員・幹事全員が出席して開かれました。

まず、今年度の経過について運営委員会から報告があった後、事項ごとに活動の後を顧みながら意見を交換し、お

おむね次のような了解に達しました。運営委員会はこの了解に従って来年度の具体的な計画を練ることになります。

◆経理について

今年度は連盟結成準備費が約8万円かかったにも拘らず一般会計で約5万円が残る見通しであり、さらに独立採算の競技会関係で別途8万円余の剰余金が生じているが、このことについては次のような共通理解を得た。

- ①年会費は値下げしなくてよい。
 ②大会のボール代に当てるといふ意見と、今まで通りでよいという意見とがあり、結論を得なかつた。
 ③競技会のコート面数を増やすことは望ましいが、天候次第で参加者が少ないこともあろうからリスクも大きく、競技会関係会計は必ずしも黒字と思わない方がよい。
 ④金が余っても当分の間は連盟の財政基礎を固めるため積み立てる。(100万円位まではよいが余り多いのはよくない。)
 ⑤専用テニスコートを持つなどスケールの大きな構想を立ててはどうかという意見もあつた。

◆競技会のやり方について

- ①金も余っていること故、冬期も室内大会を開催してはどうかという意見があつた。
 ②全日本に通じる正式のベテラン大会を壮年連盟が担当してはという意見もあるが、先ず県テニス協会の意向を聞く必要がある。
 ③今年の競技会はダブルスだけであつたが、シングルスも行なえという声はなく、当分ダブルス中心でよい。
 ④競技会への参加申込みはペアでしてもらつてとありがたいという運営委員側の発言に対し、会員個々には難かしい事情の人もおり、今まで通り運営委員会で配慮してほしいという要望があつた。またその際、女性委員から女子は女子だけのペアの方が気楽と思つている人もいるとのコメントがあつた。
 ⑤リーグ戦に於ける同勝率者の順位の決め方について協議した結果、ゲーム勝率(勝ゲーム数/全ゲーム数)で決めるという案が大勢の支持を得たが、実質的に内容を変えないで平易に表現できないか再検討し、また委員は一般会員の意見も聞いたうえで、来期シーズン初めの委員総会で最終的に決定する。

◆会報・名簿について

- ①会報の意義効能は充分認められる。
 ②加盟会員は現在191名に増えたが、新しい名簿は来シーズン初めの会員異動の多い時期が過ぎた後に発行する。
 最後に、来年度運営委員の選出について協議し、来年度も連盟創設の基礎固めの時期に当たるので現運営委員は引きつづき留任すること、および新たに川口温弘(六丁目)、久保寿一(泉パーク)、進藤英雄(南インター)の三氏に就任を要請することにした。

◆テニスクラブ等グループ代表委員

当連盟規約(下掲抜粋参照)により現在までに次の方々が各グループの代表委員として推薦されています。未だ委員を送っていないグループは新年度早めに代表を推薦してください。そして全会員の意向で連盟が運営されるようお互いに協力しましょう。また、代表委員が交代するときは忘れずに事務局に知らせてください。

グループ名	委 員
萩庭会	飯野 雅
アップル	井沢 秀雄
東北大職(片平)	石亀 希男
東北大職(青葉山)	長田 輝夫
六丁目ク	川口 温弘
泉パークランドTC(A)	菅野 志津子
泉パークランドTC(B)	北野 妙子
泉パークランドTC(C)	久保 寿一
南インターTC(A)	渋谷 陽子
南インターTC(B)	進藤 英雄
南インターTC(C)	玉置 康雄
郵政ク	高橋 哲太郎
東北工大職員ク	田代 侃
青葉台TC	中鉢 不二男
東北ファミリ-TC	松尾 正親
古川硬式TC	森谷 勇一郎
良友会	安田 勇
東北電力ク	山本 忠
丸太沢TC	渡辺 博茂

(註) 宮城県壮年テニス連盟 規約(抜粋)

第11条 本会の活動を組織的に企画実行するため次の役員をおく。

委員：委員は本会の運営に会員の総意が反映するよう会員の意志を代表し、また、運営委員会の意図が会員に円滑に伝わるよう努めるものとする。委員は原則として5名以上の会員の所属するテニスクラブまたは職場等のグループごとに1名を推薦するものとする。会員が所定数に満たないグループまたは個人にあつても、それらの中でいくつかの適当な連合体を構成しそれぞれ委員1名を推薦することができる。委員の任期は特に定めず、各グループ等の都合により随時交代することができる。(以下省略)

第12条 本会の活動方針を協議し、実行計画を策定し、また会務を掌理するため次の役員会を開く。

運営委員会：運営委員および幹事で組織し、会の活動を具体的に企画実施するための世話を担当し、会務を掌理する。
 委員総会：運営委員および幹事を含む委員全員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、運営委員会の提示する活動計画案、予算案および決算案を審議する。委員総会には代理人の出席を認め、また委任状を以て出席に代えることができる。